

シモダ産業 株式会社

DX宣言書

2025年7月29日
シモダ産業 株式会社
代表取締役社長 霜田 彰

□ 経営理念

常に顧客満足の向上を目指し、要望・期待・信頼に応える様、「変革」「創造」「共存」を基に、社会の変化に対応した環境に優しく、安全を重視した企業を目指します

□ DXビジョン(2～3年後にありたい姿)

- ◆ デジタル技術を活用して業務効率化に取り組むことで、従業員にとって働きやすい職場環境を整備します
- ◆ 焼却施設の運営で培った技術を土台に、IoTやAI等を活用した全工程の統合的な管理を行い、廃棄物を再利用可能資源へと転換する循環型施設を目指します

□ DX戦略・施策

➤ フェーズ1(現在 ~ 2026年1月)

戦略 「業務プロセスの可視化による業務の効率化」

- 施策
- ・ 各部門の業務プロセスおよびシステム環境を可視化し、課題を特定
(例:見積書やマニフェスト等の情報連携を円滑にするため、情報伝達・管理方法を統一)
※マニフェスト…廃棄物の処理が適正に実施されたかどうか確認するために作成する書類
(公益社団法人全国産業資源循環連合会HPより)
 - ・ 上記施策で特定した課題をもとに優先順位付けを行い、改善策を策定、実行
 - ・ 属人化した作業を標準化するため、作業手順や社内ノウハウ等の情報を収集・蓄積
 - ・ 業務プロセスの可視化に基づく改善策を円滑に実行するため、ITスキル向上に向けた社内勉強会を定期的実施

➤ フェーズ2(2026年2月 ~ 2027年1月)

戦略 「定型業務のデジタル変革による生産性向上」

- 施策
- ・ フェーズ1で蓄積したデータをもとに、各プロセスごとに業務の目的や具体的な作業手順を明記したマニュアルを作成することで、業務を標準化
 - ・ RPAやAI-OCR等を活用し、見積業務等の定型業務を自動化
 - ・ マニフェスト管理をデジタル化することで、入力ミスの防止や作業時間の短縮を実現

➤ フェーズ3(2027年2月 ~ 2028年7月)

戦略 「データ活用による業務の最適化と人的資源管理の強化」

- 施策
- ・ 過去の注文履歴を分析し、商品の需要をより正確に予測するモデルを構築
 - ・ 上記施策で構築したモデルを活用し、在庫管理の効率化に向けたPoC(概念実証)を実施
 - ・ 採用領域におけるDX推進の一環として、採用活動の成果を定量的に評価するための指標(KGI・KPI)を明確に定義し、データ(応募数や面接通過率等)に基づく採用プロセスの改善を実施・運用
 - ・ DX実行計画の振り返りと課題抽出を通じた全施策のブラッシュアップ、および次期DX実行計画の策定

□ DX推進体制

- ・ 代表取締役社長がDX推進における実務執行統括責任者を務めます
- ・ DX推進チームがDX戦略実行の中心的役割を担います

□ DX推進目標

- ・ 定期勉強会 : 年2回以上(~2026年1月)
- ・ マニフェスト管理の事務作業時間 : 50%以上削減(~2027年1月)
- ・ マニュアル活用による平均作業時間 : 30%以上削減(~2027年1月)
- ・ 残業時間 : 50%以上削減(~2028年7月)